

KGA NO.40



目次

特集 第43回「関東オープン」

心も目も「オープン」.....1	平成4年度 関東ジュニアゴルフ選手権競技11
平和で豊かな国のチャリティートーナメント4	平成4年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表12
国連難民救済募金のご報告6	理事会・分科委員会13
もう一つの関東オープン8	平成5年度 関東ゴルフ連盟競技日程表18
平成4年度 関東オープンゴルフ選手権競技成績表9	新規加盟倶楽部紹介19
「シニア」プロの「ジュニア」教室10	月例競技成績表・お知らせ20

表紙photo/茨城ゴルフ倶楽部 撮影/KGA広報委員

心も目も「オープン」

— 新・関東オープンのスタート —

文・宮元昭雄、杉山通敬、和田憲一 (KGA広報委員)

写真・深井昌司、舟橋一芳、石川博英、片山晴美 (KGA広報委員)

イラスト・山梨和彦

“質素”にして“爽やか”なオープンだった。しかし中味の濃いオープンだった。歴代優勝者——林由郎、小針春芳、石井朝夫氏——のエキシビションあり、ジュニア・ゴルフ・クリニックあり、常陸宮殿下がチャリティに見えられたり、ギャラリー、選手、関係者一体となったの大会であった。



第43代チャンピオンは白石達哉選手

アフリカのソマリアや旧ユーゴスラビアの難民悲劇の映像が伝わってくるたびに心が痛む。内戦、とくに子供たちの悲惨さが眼に焼きつき、その恐ろしい現実が心が痛む。

とはいえ、平和で豊かな社会にどっぷりとつかっているわれわれ日本人の目には、このむごたらしい現実もどこか遠いところの出来ごととして映って見えるのだろうか。

一方国内に目を転じれば、世の中不景気になったというものの、それも他人ごとであるかのように老いも若きも、思い思いのレジャーを楽しんでいる。ゴルフ界を見てもしかり、例えば何10億円という高額賞金に恵まれたプロゴルフ界は、まさにこの世の楽園、別世界ともいえる。

はたしてこれでよいのだろうか。他人に対する思いやり、人間社会での愛の意識が薄れ、自分本位の考え方や行動が支配する世の中になった。それだけ周囲で起きる悲劇に対する関心は極めて希薄になったのであろう。

今年で43回目を迎えた関東オープン・ゴルフ選手権競技が、これまでの競技本位の運営から一歩進んで、ゴルフを通じて難民救済のための国際貢献を果たすべく、チャリティ・トーナメントを企画したのも、

いけば大なる反省にもとづいたものといえよう。

関東地区で2,500万人といわれるゴルフ愛好者、それに連盟加盟倶楽部446倶楽部の善意を結集した本大会は、これまでにない充実したしかも清新なトーナメントとして内外から高い評価を受けた。

大会4日間を通して、コースの内外で拾ったギャラリーや関係者たちの話題の中から、その事実を改めて検証してみたい。

賞金額の高低で競技の格が決まる?

その第一は、オープン・トーナメントが新しい形での社会的意義付けを明確にした、ということである。

この2～3年、スポンサー競技に比べて賞金額が低いということでトップ・プロの出場が減少し、“オープン”もなめられたものだという意見もあった。またそのために質の低下を云々され、見てくれは格下の印象を与えてきたクライがあった。

わが国のゴルフの歴史をひもといて見れば、関東オープンがわが国ゴルフ界発展に多大な寄与をしてきたことは歴然としている。そしてメジャーとしての高い評価を長く持ち続けてきた。しかし、スポンサー競技の急増に伴い、マナーランキング・システ

ムを採用するプロ協会は、関東オープンを今年度よりその対象競技より除外した。しかも同一週に日本プロのマッチ・プレーが開催されたため、結局はランキング上位のプロの参加は皆無にちかい大会となった。

しかし結果はこれまでのように特定のトップ・プロの人気に支えられるという大会とおもむきをガラリと変え清新でさわやかな雰囲気となった。このことは多くのギャラリー、関係者に好感を与えたようだ。

かつてスターとはいえないプロ選手とアマチュアゴルフ界のベテランと若手選手が出場したが、それだけに出場者の家族や関係者たちがこれまでになく応援にかけつけるなどして、共にゴルフを楽しむという光景が随所に見られたのである。

「オープン」は本来アマの競技にプロを参加させる



大会3日日常陸宮殿下が観戦にみえられた

ことがそもそもであった。出場するプロは年に一度、この祭典でプロならではの妙技を披露し多くのゴルフ愛好者に見せるというのがオープンの意義でもあった。賞金額の多寡によって出場するしないといったことは、ここ数年来のことでありなんともうら悲しい思いがする。さらに今大会より社会と密接なつながりをゴルフを通じて広めるといった価値も加わった。プロ協の諸氏には、再考をお願いしたいものだ。今年アマチュアの活躍が目立った。決勝進出61名中、アマが13名、しかもベスト10に片山、加藤、横田の3選手が入る善戦、多くのギャラリーに大拍手をうけていた。

その他、比嘉勉がアルパドロス(15番537ヤード)の快挙を、またアマの小川透とプロ池内信治がホール・

イン・ワンを、そして優勝者の白石達哉は18番をイーグルでしめくくるなど、観客にとってはまことに見ごたえのあるプレーが随所で展開された。

大会を盛り上げた歴代優勝者

第二に挙げておきたいのは、関東オープン歴代優勝者の中から、林由郎、小針春芳、石井朝夫というベテランのプロ3名によるエキシビジョンである。3氏は最終日(9月6日)最終組の後からスタートし9Hの模範プレーを行ったが、ギャラリーを大いにわかせた。

3氏ともいわばプロゴルフ界の長老である。当たり前のことながら飛距離の点では若手の現役プロには及ばないまでも、心にくいまでのテクニクを披露し、詰めかけたギャラリーやファン目を堪能させた。

また3氏は、ジュニア・ゴルフ・クリニックも心よくひきうけてくれ参加した70名のジュニアはもちろん、同伴した父兄たちも共に受講し有意義かつ思いついて深い一日を過ごすことができた。

西川藍君(中2)の母・住野さんは『世の中に貧しい人も多くいる中で、子供たちがゴルフをできる喜びと幸せをこのクリニックを通じてつくづく感じました』と感激していた。中・小の2人の子供と一緒に来たという佐藤氏(自営業48歳)は『ゴルフという大いなる遺産を後世に残していくためにも、正しい指導が必要だと思う。有意義な企画だし、将来は親と子が一緒に受講できるようなチャンスを広げて欲しい』と絶讃しきり。

このように、出場選手やそのファンやファミリーという一連の結びつきはさらに強まりかつその輪が広がった。このことによりオープンのステータス、ひいてはゴルフ界全体のイメージの高揚といった点でもこのような企画は極めて効果的であったと思う。

よりよいオープンのために

最後に、ギャラリーや関係者たちから集めた興味ある提言を収録しておく。

マスコミ関係者のK氏は『オープン競技が、チャリティとなって一般の人なじみ易くなったのではないか。また善意をゴルフを通じて、という意識を持



最終日歴代チャンピオンのエキシビジョンが行なわれた。ホールアウトした小針、林、石井(中央左よりの)3氏を迎える細川理事長

つようになったことが大きな収穫だったと思う。

ジュニア・ゴルフ・クリニックも、ゴルフの神髄の一端を理解させることになったと思う。このことは、将来の基盤づくりに役立つと思う。難民救済チャリティといわば世界に目をむけたが世界のゴルファーにも門戸を開くべきだ。つまりせめて東南アジアの各国からアマの代表を2~3名、プロも1~2名という具合に参加させたいかかなものか。

またナショナルオープンである日本オープンには、地区オープンの上位者をもっと多く出場させるべきだ。なんなら、地区オープンに出場しなければ、日本オープンの出場権を与えないくらいのものである。そのためにも、日本オープンを名実ともに最高のゴルフ競技にする必要があるが……

オープンという歴史的な大会の価値評価からみて、この際その權威の再確立を考えるとときに来ていると思う』と力説する。

ゴルフ評論家土井新吉氏は『日本人の感覚として、自分だけ良ければ……という考えが根強く残っているかぎり、アメリカに見られる本来のボランティアは育たない。プレス関係の取材が例年に比べて減少したが、より興味を引くものを取材するというプレス側の事情は理解できるが、だからといってオープンに興味がないわけではない。

プロもツアー競技を盛り立てる義務があるし、立場によって仕方ないが、新企画によるオープンはそ

れなりに立派な意義を果たしたと思う。これからは根強くそのステータスを確立する事が大切だし、それによってオープンの開催意義はより高まると思う。』

国連難民高等弁務官事務所駐日代表ギィ・プリム氏は『素晴らしいイベントだ。平和を望む心優しい日本人の思いやりが強く感じられた。私はこの善意を世界に訴えていきたい』と、細川連盟理事長より大会で集められた寄付金2,098万円を手にして感涙して語ってくれた。非常に印象深い心あたたまるに残ったフィナーレであった。

4日間に互る競技は好天に恵まれ、白石達哉選手が2位の会田洋、丸山智弘、池内信治選手にそれぞれ9ストロークの大差をつけ273ストロークで初の栄冠に輝いた。

ベストアマには片山晋呉が285ストロークで堂々と8位に入賞した。

異常ともいえる晴天続き、近隣のほとんどのコースが水不足で芝が枯れるという騒ぎの中で、開催コースとなった茨城ゴルフ倶楽部は、万全のシフトで大会を無事に終えた。しかも、使用したグリーンはベントであった。コース管理に半年余にわたって心血を注いだキーパーの滝島平郎氏の不眠不休の努力があったことを末筆ながら加えておきたい。

(文・宮元昭雄)

平和で豊かな国のチャリティ・トーナメント

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日代表 ギィ・プリム氏
インタビュー 杉山通敬・通訳 UNHCR広報室佐藤幸江さん

—KGAは1都10県のゴルフ倶楽部とゴルファーをカバーする地区団体なのですが、このような地域性の強い組織が世界の難民救済のために関東オープンをチャリティ・トーナメントにしたことに対して、どのような感想を持っておられるか。まず、その点からお聞かせ下さい。

「たしかにレフュジー(難民)は世界的、地球的規模の問題で、KGAのような地域性の強いゴルフ団体が取組むには対象が大きすぎるように思われるかもしれませんが。われわれはコミュニティを考え、どこから活動をスタートしたらよいか、いつも考えています。問題は人々の関心を難民問題に向けさせることです。そして難民問題を通して平和がいかにありがたいことであるかを世界の人々に認識してもらうことにあります。大きなエリアを対象に活動しているには相違ないのですが、関心を掘りおこすうえでは限られたエリアをベースにして直接的な働きかけをしたほうが効果的だと思います。その意味ではKGAがわれわれの活動に関心を寄せ、ゴルフを通してチャリティをして頂くことは大変に意義深いことです。1人でも多くの賛同者を得ることはわれ

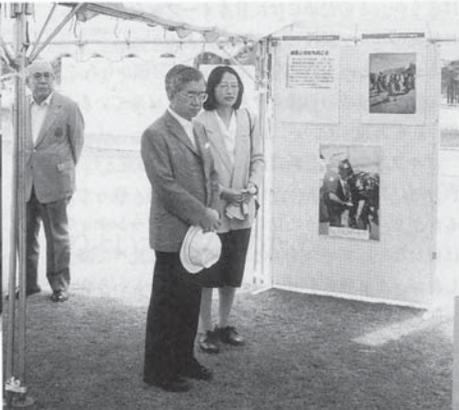
われの喜びです」

—日本は島国で、他国と国境を接していないせいか、難民問題にあまり関心を持っていない人が多いのですが、1人でも多くの賛同者を得るためにはどのような働きかけをしたらよいでしょう。

「平和だからゴルフが出来る。豊かだからゴルフが出来る。この地球上で、ゴルフが出来るほどに平和で豊かな国は世界でも数少ないのです。日本は島国なので自国民が難民になった経験がないと思っているかもしれませんが、第2時世界大戦後のことを思い出してみして下さい。シベリアや旧満州国、その他さまざまな国に抑留されていた人々が舞鶴へ引揚げて来たてはないですか。それらの人々は戦争による難民と書いていいでしょう。この地球上にはその種の難民が1,700万人も、いまだにいるのです。誰もが祖国で平和な生活を送りたいと望んでいるのに、それが出来ていません。レフュジーは国内問題ではなく、国際問題だと日本では考えているようですが、1945年から50年代のことを思えば国内問題であることが分るでしょう。現実には、いまだに中国残留孤児の問題が残っているではないですか。それに日本に



▲杉山委員のインタビューを受けるギィ・プリム氏



▶常陸宮殿下もUNHCR特設テントを訪れチャリティに応じた



◀チャリティを機に外務省の後援、大臣杯も贈られた

は1万人の難民(主としてベトナム)が生活しているではないですか」

—平和だからゴルフが出来る。そのありがたさを噛みしめ、いく分なりとも感謝の気持を表わしたい、ということで今年から関東オープンをチャリティ・トーナメントにしたわけですが、今後、KGAに望むことがあったら、あるいはサジェスションすることがあったら聞かせて下さい。

「チャリティの額はともかくとして、今後、永続的にわれわれとの関係を保ち、レフュジーを通して平和の尊さをゴルファーの方々のみならず、日本の国民に認識してもらうことにこそ意義があります。戦争は、たとえばこの間の中東戦争では1日で1億ドルの金が使われてしまえばかりか、多くの尊い人命まで失なうのです。ベトナム戦争ばかり、アフガニスタンばかり、今はユーゴスラビア、あるいは「アフリカの角」ばかりです。いずれも国際問題であると同時に世界各国の国内問題でもあります。レフュジーは問題の本質が深刻になっていきます」

—たとえば、どのように。

「たとえば日本には1万人のベトナム難民が生活していますが、もっとも望ましいのはそれらの人々が祖国で生活出来るようにすることです。難民の故国帰還こそ望ましいのですが、不幸にしてそれが出来ないとなれば日本の社会にどう受け入れられ、幸福な生活が送られるかです。日本語の教育も必要ですし、彼らの家族がちりちりになっていれば一緒に暮らせるようにもしてあげなければなりません。永住民をスムーズにするためにはいろいろな問題がありま

す。その意味からも関東オープンが永続的にわれわれとの関係を保ち、平和のありがたさをアピールすることを切に望みます」

—今年は2,098万円のチャリティ基金をUNHCRに寄せることが出来ましたが、この具体的な使途は決まっていますか。

「使途については、そのたびにレポートしますが、緊急事態に応じて緒方貞子さん(国連難民高等弁務官)が決めます。現在、日本にいる難民に対してはUNHCRの一般会計から年間600万ドルが駐日事務所を通して使われています。その一部に使われることも考えられます」

—ところでプリムさんご自身はゴルフをなさいますか。

「残念ながらやる機会がありません。ゴルフ場へやって来たのも今日(関東オープン最終日)が初めてです。拝見したところ、大変に平和なゲームですね。われわれの活動とマッチしたゲームだと思いました。世界の平和を意識して、この大会が難民問題の世論づくりをして頂ければうれしいですね。来年がさらによい大会になることを心から願っています」

—では、来年もまた会場で。

「ええ、是非、KGAの皆さんとお会いしたいです。そのためにも平和であってほしいですね」



細川理事長が代表してギィ・プリム氏に寄金を贈呈した

ご協力ありがとうございました

— 国連難民救済募金のご報告 —

皆様からお寄せいただきました寄金と、開催期間中ギャラリーよりいただいた98万円それに連盟予算の合計2,098万円を、表彰式にて細川理事長が代表して、UNHCR駐日代表ギィ・プリム氏にお手渡しいたしました。

一部の倶楽部より未だ送金いただいておりますので最終集計報告は後日いたしますが、9月30日現在は別表となります。



国連難民救済基金口実績総括表 (円)

県別	項目	クラブ数 (内未実績クラブ)	寄金額	県別クラブ平均額
他連盟所属		2 (3)	9,528	4,764
新潟県		22 (2)	1,246,108	56,641
長野県		23 (5)	466,311	20,274
山梨県		10 (5)	70,073	7,007
群馬県		24 (9)	1,169,546	48,731
栃木県		62 (10)	1,978,365	31,909
茨城県		48 (6)	3,202,244	66,713
埼玉県		31 (9)	1,955,056	63,066
千葉県		61 (14)	2,337,333	38,316
東京都		12 (2)	375,194	31,266
神奈川県		26 (9)	513,693	19,757
静岡県		36 (15)	552,130	15,336
合計		357 (89)	13,875,581	38,867
※その他の寄金額			2,711,033	
総計			16,586,614	

※栃木県ゴルフ場協議会100万円 埼玉県アマチュアゴルフ連盟30万円
ゴルフタイムズ社有志10万円 水海道ゴルフクラブ(非加盟倶楽部)5万円
小川 透氏10万円

さまざまのチャリティ

●大会2日目、受付に1円玉をビニール袋一杯にしてお持ちになった人がいた。その人は茨城ゴルフ倶楽部の会員山口敬祥さん。もちろんチャリティにということである。大会本部で5人ばかりで10枚ずつの山にしてみたら、3,512円ありました。中にはYシャツのボタンとおぼしきものも5・6個ありました。

●「ゴルフタイムズ」のうら若き女性記者2名が来盟した。関東オープンの取材と聞ききや、同社のゴルフコンペの景品代10万円をチャリティに寄金するため持参したとのこと。この中に古賀社長のポケットマネーが入っているかは聞きもりました。

UNITED NATIONS
HIGH COMMISSIONER
FOR REFUGEES
Branch Office for Japan



NATIONS UNIES
HAUT COMMISSARIAT
POUR LES RÉFUGIÉS
Délégation pour le Japon

Shin Aoyama Building Nishikan 19th Floor
1-1, Minami Aoyama 1-chome, Minato-ku
Tokyo 107, Japan

Telephone 03-475-1615/6
Cable HICOMREF TOKYO
Telex J34181 HCRTKY
Facsimile 03-475-1647

1992年9月17日

関東ゴルフ連盟
理事長 細川 謙貞 様

拝啓 時下ますますご清祥の事と、お慶び申し上げます。

さて、過日は「第43回関東オープンゴルフ選手権」を通して、多額のご寄付を、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の難民救済事業に賜り、誠にありがとうございました。

ゴルフを通して難民救済活動を行なうという、今までにない奇抜な発想で、広くゴルフ愛好者の方々のご協力を得ることができました。また、この身近で人気の高いスポーツを通じ、多くの方が、「難民問題」について考える機会を与えて頂いたことに感謝いたします。集められたご寄付は、ソマリア、旧ユーゴスラビアなど、緊急に援助を必要としている地域で役立てさせていただきます。

今後も、本大会のますますのご発展をお祈り致しますとともに、主催者の関東ゴルフ連盟関係者みなさまのご尽力に心からお礼申し上げます。

敬具

国連難民高等弁務官（UNHCR）
駐日代表 ギィ・プリム

●アマチュアの小川透さん（岡部チサン、49歳）が、最終日、13番ホール202ヤードで4番アイアンを一振り、ホール・イン・ワンとなった。なんと今年で3回目とか。とはいうものの、関東オープンでのホール・イン・ワンとなれば喜びもひとしお、一生の思い出である。さて記念品をどうしたものかと思案したが、UNHCRの駐日代表のたどたどしい日

本語での謝辞を聞いているうち、ありきたりの品を贈るよりその費用を国連難民救済に寄金することにし、事務局にわざわざ持参してくれた。

本人曰く「成績は出場選手116名中の52位タイだったが、個人の寄金額では上位入賞したものだと思えます」。

もう一つの関東オープン

—酷暑の中のペント・グリーン—



茨城ゴルフ倶楽部のコース・メンテナンスの良さは、
 斯界の誰しもが認めるところである。

とくに毎春(4月)のダンロップ・オープンのペント・
 グリーンのすばらしさは、選手はもちろんゴルフ関係者
 の誰しもが感嘆する仕上がりとなる。

しかし、これは春先のこと。酷暑の8月下旬から9
 月第1週にかけて開催される「関東オープン」は、これ
 までどの開催倶楽部も高麗グリーンを使用してきた。(1
 昨年の東ノ宮カントリークラブはペントだった)それが
 今年はペント・グリーンでの「関東オープン」となった。

新設コースの大きなペントのワングリーンならあらか
 じめ最新の理論、技術を入れて設計されるから、ま
 あ問題ない。しかし、茨城ゴルフ倶楽部のように今年で
 開場30周年を迎えるような、古い名門倶楽部では相当の
 リスクを伴う決断と言えよう。しかも、失敗は許されな
 い伝統ある「オープン競技」である。コースの片隅でテ
 ストするのは全くことなる。

決断したのは古賀始理事長である。平成3年5月の、
 KGAコース選定委員会が開催が決定されたその日に決断
 したという。

「責任は俺がとる。チャレンジしろ」
 と滝島平八郎グリーンキーパーに命じた。

滝島さんは語る
 「ハイ、と返事したものの、なにしろ初めてのことな
 で、自信はなかった。これまで、夏の間は養生させ、病
 気さえ注意しておけばよかったわけだが、さて夏場をど
 う越して競技日までつなげるか、未知への体験への挑戦
 となった。」

古賀さんと言わせると「重病人を看病するような細心
 の注意、気配り、思いやりが必要」とのこと。

そして18ホールのグリーン環境が全部異がっており—
 風通し、日照、床など—各々に合った対処法が必要
 になる。滝島キーパーの頭には当然のことながら全グリー
 ンの体質、健康状態が頭に入っており、その日の気象
 条件でどのグリーンにどんな手当て、投薬が必要か、どん
 な予防措置をとったらよいか、あたかも名医のように判
 っている。

通常、6月になるとグリーンは高麗となりペントは東
 の間の休息をとる。しかし、今年は休みを与えなかった。



古賀理事長(左)、滝島キーパー(右)

5月から4.5mmに手刈りて刈り込み続けた。そうしないで
 「さて9月3日からペントでオープン」とばかり直前に
 刈り込むと、いわば大手術をするようなものでもたない。
 その意味で言葉は悪いか「生かさず殺さず」の状態
 いじめ抜いてきた。そして8月の酷暑である。それも今
 年は異常な暑さの毎日だった。

ご承知のように、ペントは寒地性の芝だから暑さには
 弱い。しかし、猛夏の暑さにはなんとか耐えられるか問
 題は夜、それも熱帯夜である。

芝は放射熱で蒸されるといっぺんに生命を断たれる。
 そのためグリーン面の温度を下げる必要となり、
 噴霧状の散水を夜通し続けなければならない。(午後9時
 に2分間、葉をぬらす程度の散水、午前1時、3時に50
 分間散水)

滝島さんはこの作業を8月のお盆すぎから毎夜つづけ
 た。毎日の気象に一喜一憂しながら文字どおり不眠不休
 で看病してきた。

大会期間中のグリーンは、まさに気息奄奄の状態であ
 った。とくに最終日はうっすらと黄色がかり、パッティ
 ング・クォリティは最高の仕上がりとなった。河西競技副
 委員長によると「今年の全米オープンのグリーンと同じ」
 仕上がりだったとのこと。あるベテラン選手は「このグリー
 ンには趣味を感じ、手がふるえた」と語ってくれた。

表彰式のあと、滝島さんは「ホッとした。しかし得難
 い経験をした。このような機会、試練の場を与えてくれ
 た皆さんに感謝したい」と陽にやけた顔をほころばせて
 語ってくれた。(和田恵一)

平成4年度(第43回) 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

開催コース 茨城ゴルフ倶楽部
 開催日 平成4年9月3日(木)~9月6日(日)
 参加者 118名(プロ80名・アマ38名)



KGA杯

外務大臣杯

UNHCR杯

順位	選手名	所属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計	アウト	イン	計	アウト	イン	計	アウト	イン	計	
1	白石 達哉	山下リネンサブライ	36	35	71	35	34	69	35	36	71	32	30	62	273
2	丸山 智弘	ロイヤルハワイアン	35	36	71	34	36	70	36	36	72	34	35	69	282
2	合田 洋	アシックス	38	37	75	35	34	69	31	35	66	35	37	72	282
2	池内 信治	フ リー	36	38	74	35	36	71	30	35	65	35	37	72	282
5	真坂 清	フ リー	37	35	72	34	35	69	35	36	71	35	36	71	283
5	海老原 清治	第一不動産	35	35	70	36	38	74	35	33	68	35	36	71	283
7	比嘉 勉	さ ず	34	39	73	36	36	72	36	35	71	36	32	68	284
8	片山 晋典	つくば ね	37	38	75	34	33	67	37	35	72	35	36	71	285
8	加藤 一彦	茨 34	38	72	36	34	70	37	36	71	34	37	71	286	
9	横田 真一	学 34	39	73	35	34	69	35	36	71	37	36	73	286	
9	陳 志明	筑波産商	38	37	75	36	31	67	35	35	70	36	38	74	286
9	福沢 孝秋	諏訪湖	40	35	75	33	34	67	35	34	69	38	37	75	286
9	日ヒューズ	グレンオークス	35	35	70	35	35	70	36	33	69	38	39	77	286
14	山野 大	富士観光開発	37	34	71	36	36	72	36	36	72	36	36	72	287
14	横尾 要	あさひヶ 丘	34	38	72	35	35	70	33	38	71	39	35	74	287
14	高野 勇一	江 戸	34	36	70	34	37	71	33	36	69	40	37	77	287
14	鈴木 由浩	経 緯	38	34	72	34	33	67	33	36	69	41	38	79	287
18	鈴木 亨	下 秋 階	35	34	69	37	36	73	39	33	72	38	36	74	288
18	野口 裕樹	豊 岡 国 際	36	38	74	31	36	67	35	36	71	37	39	76	288
20	桑竹 正和	鳩 山	37	37	74	35	37	72	34	38	72	35	36	71	289
20	安田 春雄	フ リー	34	38	72	39	36	75	37	35	72	34	36	70	289
20	柴 毅廷	学 34	69	35	39	74	37	37	74	34	38	72	289		
20	信田 和成	フ リー	38	34	72	36	36	72	38	35	73	35	37	72	289
20	森田 徹	ニッソ ー	37	40	77	32	38	70	35	35	70	36	36	72	289
20	石原 明	野田大平ゴルフセンター	39	39	78	35	35	70	34	38	72	36	33	39	289
20	森 茂剛	KEY COFFEE	38	37	75	33	37	70	34	37	71	37	36	73	289
20	長竹 勇士	広 ツ 陵	34	69	36	37	73	35	37	72	38	37	75	289	
28	竹中 博	下 秋 階	37	34	71	35	38	73	37	38	75	34	37	71	290
28	E エレ	下 秋 階	37	39	76	35	36	71	34	38	72	38	33	71	290
28	林 吉祥	筑波産商	32	40	72	37	36	73	36	36	72	36	37	73	290
31	初見 充宣	望 月	37	37	72	34	38	72	34	38	72	35	40	75	291
31	橋本 純司	フ リー	36	36	72	39	36	75	36	33	69	38	37	75	291
31	文山 義夫	フ リー	38	33	71	36	37	73	36	35	71	37	39	76	291
34	野上 貴夫	学 34	71	38	34	72	37	38	75	38	37	75	293		
34	同庭 正春	学 37	74	33	36	69	37	39	76	37	37	74	293		
34	林 陳漢	オークウッド	37	35	72	39	36	75	36	38	74	37	35	72	293
34	山本 治人	富士・笠間	38	36	74	38	36	74	36	38	74	36	35	71	293
38	大塚 敏彦	日立 立 立	36	36	72	39	35	74	36	37	73	37	38	75	294
38	中瀬 芳治	大 三	36	39	75	35	35	70	38	35	73	37	39	76	294
38	白浜 敏司	三 越	35	38	73	37	35	72	37	38	75	36	38	74	294
38	西沢 兼夫	か ず	39	39	78	37	33	70	34	39	73	35	38	73	294
38	草壁 政治	クラブ麗ヶ浦コース	37	35	72	38	36	74	39	37	76	35	37	72	294
38	古山 聡	ニューセントアンドリュース	37	38	75	36	37	73	38	37	75	33	38	71	294
44	中村 賢司	ニューセントアンドリュース	37	35	72	36	38	74	36	37	73	37	39	76	295
44	藤崎 和典	富士・笠間	41	38	79	35	33	68	33	38	71	37	40	77	295
44	池田 富茂	静岡・浜岡	34	39	73	34	34	68	37	39	76	39	39	78	295
44	細川 和彦	東 名 厚 木	37	36	73	33	38	71	36	40	76	37	38	75	295
48	赤沢 全彦	シャトーヴェル	35	36	71	37	35	72	37	38	75	41	37	78	296
48	加藤 俊明	日本プラント建設	37	36	73	39	35	74	37	36	73	38	38	76	296
48	久保 田剛司	東 富 士	36	38	74	36	36	72	36	39	75	39	36	75	296
48	伊藤 全	河和ゴルフ練習所	35	37	72	39	34	73	36	35	71	41	39	80	296
52	浅野 慶一	学 36	39	75	37	36	73	33	37	70	40	39	79	297	
52	小川 透	岡 崎 テ サ ン	35	36	71	36	40	76	37	37	74	36	40	76	297
54	鹿毛 陸男	塩 原	38	38	76	35	35	70	37	36	76	41	38	79	298
54	加藤 仁	トミカンパニー 藤正	40	36	76	35	35	70	38	38	76	39	37	76	298
54	中 島 弘二	ミ 玉	36	37	73	36	39	75	37	38	75	39	36	75	298
54	細谷 典生	沼 志 野 ・ 空 港	37	35	72	39	36	75	41	36	77	37	37	74	298
58	福田 陽一	厚木ゴルフガーデン	37	40	77	36	35	71	36	42	78	37	37	74	300
59	近藤 守	フ リー	37	37	74	38	36	74	37	37	74	38	41	79	301
59	宮本 勝昌	大 熱 海 国 際	39	34	73	38	36	74	40	37	77	38	39	77	301
61	志子 田嘉也	水 戸	36	38	74	34	37	71	38	45	83	36	40	76	304

*印は、アマチュア選手

"シニア"プロの"ジュニア"教室

今年のジュニア育成活動の締めくくりは、関東オープン最終日のゴルフ・クリニックであった。春、3月の春季ジュニア・ゴルフ・スクール、7月～8月の夏季ジュニア・ゴルフ・スクール、そして、関東ジュニア・ゴルフ選手権、委員諸氏はまさに大車輪の活動であった。

関東オープンの最終日、JGAジュニア会員の小中学生を対象に「ジュニア教室」が開かれた。レッスンをするのはかつての同オープン・チャンピオン、林由郎、小針春芳、石井朝夫プロの3人。受講者は小学3年生からの中学3年生までの70名。シニアプロのジュニア教室になった。受講者を3班に分け、1班5人が10分間ずつ交替しながらレッスンを受けるサマは壮観であった。

初めてクラブを握る少年もいれば、見事なフォームで素晴らしいショットを連発する少女もいる。1人に割当てられた時間は10分であったが、熱の入ったシニア先生は時間超過をいとわず「今日は、せっかくだから、これだけは覚えて帰らなさい」と手とり足とり教えていた。打席の後方で見守る父



3人の名プレーヤーを前にジュニアも緊張気味

兄にもその熱気が伝わる。

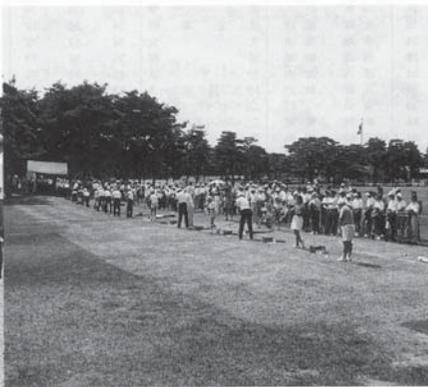
経験豊かな先生達の、レッスン会が終わってからの感想は、大半の受講者がテレビで観るプロトーナメントの影響を強く受けているせいか、フィニッシュを大きくとろうとしすぎている、ということだった。そのために肝心のインパクトがないがしろになっている、という。グリップ、スイング、アドレス、ほとんどのジュニアが基本を教え込まれていた。

「ボールの打ち方はわれわれが教えますが、ゴルフ(エチケットやルールなど)を教えるのは連盟の皆さん方ですよ」

石井朝夫プロが、レッスンを前にしたお茶飲み話で言っていたのが印象的であった。(杉山通敬)

ジュニアもボランティアでオープン参加

土浦日大、常総学院のゴルフ部の皆さん、27名に、関東オープンのお手伝いをお願いしました。スコア・カードの運搬、ギャラリ―整理などと大活躍。新・関東オープンの開催主旨に賛同いただき、ボランティアで協力いただきました。来年は千葉県の日野ゴルフ倶楽部で開催されます。千葉県のジュニア全員によびかけましてお手伝いいただきたいと考えております。



プロのショットより、こちらのレッスンの方が参考になるとギャラリ―も大喜び

平成4年度 KGA夏季ジュニア・ゴルフスクール参加人数

	開催日	倶楽部名	参加申込	欠席	無断欠席	参加	委員	男子プロ	女子プロ
1	7月27日(月)	筑波カントリークラブ	151	30	(7)	121	14	12	3
2	7月28日(火)	東京国際カントリー倶楽部	151	26	(7)	125	10	12	3
3	8月4日(火)	佐倉カントリー倶楽部	141	47	(5)	94	9	12	3
4	8月6日(木)	グランスタージカントリークラブ・丸子コース	33	8	(1)	25	1	3	指導員3
5	8月7日(金)	袖ヶ浦カントリー倶楽部・袖ヶ浦コース	153	32	(7)	121	7	12	3
6	8月17日(月)	桜ヶ丘カントリークラブ	155	45	(7)	110	11	12	3
7	8月17日(月)	皐月ゴルフ倶楽部・鹿沼コース	111	32	(5)	79	6	11	3
8	8月17日(月)	相模カントリー倶楽部	168	15	(2)	153	11	12	3
9	8月18日(火)	我孫子ゴルフ倶楽部	104	24	(3)	80	11	13	3
10	8月19日(水)	浅見カントリー倶楽部	114	33	(9)	81	7	12	3
11	8月21日(金)	東京ゴルフ倶楽部	128	18	(5)	111	10	12	3
12	8月24日(月)	ノーザンカントリークラブ・錦ヶ原ゴルフ場	325	55	(12)	270	15	16	4
合 計			1,734	365	(70)	1,370	112	139	37

平成4年度 第13回 関東ジュニアゴルフ選手権競技

◆シード選手17名(高校男子15名、女子1名、中学男子1名)を含めた総出場人数 1,497名
◆決勝進出人数 220名(シード選手を含む)

予選	高校男子の部	エントリー	出場人数	欠席	予選通過人数	予選通過スコア	メダリスト	KGA委員	クラブ委員
茨城	(東) Aブロック	163	160 失格2,棄権1	3	18位タイ、20名	+7(79)	-2(70)佐藤 彰洋(水城3)	15名	17名
	(西) Bブロック	163	158 失格1,棄権3	5	19位タイ、22名	+8(80)	-2(70)古庄 紀彦(日大-1)		
日高	(東・西) Cブロック	84	77	7	9位タイ、11名	+11(83)	+7(79)田島 創志(高崎高1)	11名	5名
	(西・南) Dブロック	84	78	6	9位タイ、10名	+9(81)	+1(73)岡野 英身(埼玉栄1)		
甲府	(南・東) Eブロック	85	80	5	9位タイ、11名	+13(85)	+4(76)牛嶋 秀彦(西武台3)		
	Fブロック	151	142 棄権1	9	16位タイ、18名	+11(83)	+4(76)清水 宝(白根2) 小川 陽一(明中八王子3)	11名	11名
群馬	Gブロック	176	173 棄権2	3	21位タイ、23名	+14(86)	+5(77)原田 武秀(日大高3) 鈴木 照哉(日大高3)	12名	1名
千葉	(東・南) Hブロック	82	76 失格1	6	9位タイ、10名	+8(80)	+1(73)相方 芳彦(聖学院3)	13名	7名
	(南・西) Iブロック	82	81	1	10位タイ、11名	+8(80)	+1(73)岩本 高志(学館浦安3)		
川崎	(西・東) Jブロック	83	82	1	9位タイ、11名	+10(82)	+5(77)金子 徹(明大中野1) 染谷 浩二(西武台千葉3)		
	小 計	1,153	1,107	46	147名				
女子の部									
ノーザン	(さくらOUT-N) A	63	59	4	10位、10名	+7(82)	+1(76)小林 光(日体権原3) 藤崎 淑子(土浦日大2)	16名	11名
	(れんげさOUT) B	64	63	1	10位タイ、12名	+6(79)	-1(72)田嶋 史子(瑞穂野中3)		
錦ヶ原	(さくらIN-れんげ) C	63	59 失格2	4	10位、10名	+6(80)	0(74)高橋美衣紀(砂中3)		
小 計	190	181	9	32名					
中学男子の部									
ノーザン	(なの花OUT-N)	137	136	1	20位タイ、24名	+9(80)	0(71)小田倉一城(水戸第三3) 今井英和(春日野中2)		
小 計	137	136	1	24名					
予選合計	1,480	1,424	56	203名					
決勝 ◆エントリー220名(予選通過203名、シード選手17名)									
高校男子の部	第1日目 7/29	162	161 棄権1	1	103位タイ、113名	+15(87)	0(72)色部久昭(拓大紅陵3)	14名	7名
	第2日目 7/30	113	113	0	59位タイ、62名	+20(164)	優勝者 +4(148)辻村明志(学館浦安2)	17名	6名
女子の部		33	33	0	8位タイ、10名	+8(80)	-1(71)中島真弓(山梨英和1)		
中学男子の部		25	25	0	7位タイ、8名	+11(83)	+6(78)五十嵐将司(四街道中3) ※プレーオフによる		
7/30 合計	171	171	0	80名					

平成4年度 第13回 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表



辻村明志(高男・左)、五十嵐将司(中男・中)、中島真弓(女子)の各優勝者

＜高校男子の部＞

順位	氏名	学校名/学年	1R	2R	合計
1	辻村明志	学館浦安(2)	74	74	148
2	染谷浩二	西部台千歳(3)	79	72	151
3	色部久昭	拓大紅陵(3)	72	79	151
4	佐藤彰洋	水城(3)	79	73	152
4	小林康義	佐野日大(3)	78	74	152
4	岩本高志	学館浦安(3)	76	76	152
4	松光昌史	日体荏原(3)	76	76	152
4	橋本仁	日体荏原(3)	75	77	152
9	中村貴志	埼玉栄(3)	75	78	153
10	佛山雄輔	日体荏原(1)	79	75	154
10	佐藤慎治	日体荏原(2)	79	75	154
10	馬場聖二	明中八王子(3)	78	76	154
10	鈴木貴志	埼玉栄(3)	77	77	154
10	国吉博一	日体荏原(2)	76	78	154
15	石井忍	学館浦安(3)	77	78	155
15	相方芳彦	学館浦安(3)	77	78	155
17	後藤勲	水城(3)	80	76	156
17	薄村英樹	埼玉栄(3)	78	78	156
19	中島規雅	学館浦安(3)	82	75	157
19	山崎康文	日体荏原(3)	76	81	157
19	長尾卓水	水城(3)	75	82	157
22	森田剛志	泉(3)	82	76	158
22	関井谷知謙	日体一(3)	81	77	158
22	伊藤子志博	学館浦安(3)	81	77	158
22	小保裕次朗	日体荏原(2)	80	78	158
22	原田武秀	日大高(3)	80	78	158
22	根本晶英	水城(1)	80	78	158
22	南山豊輝	日体荏原(3)	79	79	158
22	木村高成	水城(2)	83	75	158
22	小林正剛	学館浦安(2)	82	76	158
31	和田真忠	日体荏原(2)	80	79	159
31	尾身忠久	泉(3)	79	80	159
31	古谷富広	水城(1)	75	84	159
31	鈴木英哉	日大高(3)	82	78	160
34	岡野英寿	埼玉栄(1)	81	79	160
34	野々垣真真	学館浦安(2)	81	79	160
34	島大輔	桐蔭高(3)	80	80	160
34	金井陸武	相模(3)	79	81	160
34	前田義寿	埼玉栄(3)	79	81	160
34	松崎俊一	水城(2)	78	82	160
34	新井大朗	岡(3)	83	77	160
42	古庄紀彦	日大一(3)	82	79	161
42	細川和也	日体荏原(2)	81	80	161
42	小川嘉一	日体荏原(2)	80	81	161
42	西野貴治	千歳日大(3)	83	78	161
42	石井隆明	水城(2)	78	83	161
42	鎌倉直基	成田北(3)	84	78	162
47	丸田穂穂	都立他鶴高(1)	84	78	162
47	小川洋	岡(3)	83	79	162

＜高校男子の部＞

順位	氏名	学校名/学年	1R	2R	合計
47	比留間俊光	日大(3)	78	84	162
47	正木剛雄	ピビアンイザ(3)	82	80	162
52	滑川俊水	水城(1)	85	78	163
52	小野瀬久雄	大妻野(3)	85	78	163
52	大杉正実	日体荏原(2)	79	84	163
52	船越紀之	神栖(2)	79	84	163
52	有藤英世	堀越(3)	83	80	163
52	稲波勇茂	西部台千歳(3)	77	86	163
52	上野秀明	水城(3)	82	81	163
59	藤原良徳	関学大付高(3)	82	82	164
59	高橋星	学館浦安(2)	85	79	164
59	久田謙	日体荏原(3)	78	86	164
59	方山尚洙	明大中野(3)	75	89	164
63	萩原拓人	埼玉栄(1)	82	83	165
63	川田雅史	佐野日大(3)	81	84	165
63	山崎第一	日体荏原(1)	84	81	165
63	小泉洋平	京華高(1)	83	82	165
63	堀内一樹	吉田高(3)	83	82	165
63	杉之関信明	向上一(2)	83	82	165
69	熊倉太一	常総学院(1)	87	79	166
69	金子敬一	埼玉栄(2)	86	80	166
69	佐野彰典	星陵(3)	84	82	166
69	国武亮	浦和学院(3)	85	81	166
69	板橋伸明	学館浦安(3)	83	83	166
74	林貴宣	泉(3)	87	80	167
74	河野豊	埼玉栄(3)	86	81	167
74	石田勝登	埼玉栄(3)	81	86	167
74	久保谷和明	日体荏原(1)	81	86	167
74	近藤鉄也	小松原(3)	85	82	167
74	堤聡明	西部台千歳(2)	82	85	167
74	船橋紀行	土日岩瀬(3)	82	85	167
81	中川優希	小松原(3)	87	81	168
81	長野英樹	日体荏原(1)	86	82	168
81	正木裕二	学館浦安(3)	85	83	168
81	山口和章	武相(2)	85	83	168
81	梅崎謙彦	長野日大(2)	85	83	168
81	守屋友貴	向上一(3)	85	83	168
81	吉田大輔	土浦日大(2)	83	85	168
88	小安哲矢	拓大紅陵(2)	81	88	169
88	石嶋剛	土浦日大(2)	85	84	169
88	杉山智宏	霧が岡高(2)	82	87	169
91	内田雄記	浦和学院(2)	87	83	170
91	高橋慶臣	森村高(2)	86	84	170
91	木村裕	日大(2)	86	84	170
91	佐藤朋行	日体荏原(1)	81	89	170
91	杉田晃浩	西部台千歳(2)	85	85	170
91	牛嶋秀彦	西部台(3)	82	88	170
97	大田原史典	東海大相模(3)	85	86	171
97	上島大輔	東海大相模(3)	85	86	171
97	加藤一仁	藤原(2)	85	86	171
97	長塚忠士	聖野曾屋(3)	84	87	171
101	堀野紋一	日体荏原(2)	86	86	172
101	守屋芳彦	向上一(2)	85	87	172
101	大塚健人	千歳敬愛(3)	84	88	172
104	大野良徳	埼玉栄(1)	87	86	173
104	坂野誠二	水庄東高(3)	87	86	173
106	藤波尚	西部台千歳(3)	87	87	174
106	平塚拓磨	日体荏原(3)	87	87	174
106	小川智朗	駒場学園(3)	87	87	174
106	麻田義貴	日体荏原(3)	86	88	174
106	吉柴利安	学館浦安(1)	85	89	174
111	志賀寛樹	茨城(2)	87	88	175
111	志賀寛樹	茨城(2)	85	90	175
113	大井秀王	埼玉栄(2)	87	92	179

＜中学男子の部＞

順位	氏名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	五十嵐将司	四街道中(3)	42	36	78
2	藤井宏理	赤塚中(3)	39	39	78
3	吉岡道人	城南中(2)	39	41	80
3	矢野東	妙義中(3)	41	39	80
5	岩本通	西宮中(3)	42	40	82
5	小田倉一城	水戸第三(3)	42	40	82
7	千葉康史	鏡皇中(3)	39	44	83
7	市原建彦	丸山台中(2)	44	39	83
9	日坂隼	戸田中(1)	40	44	84
9	金子朋弘	佐野日大(2)	38	46	84
9	横山明治	大森第三(3)	41	43	84
9	吉田哲也	聖三(3)	42	42	84
9	今井秀和	春日野中(2)	44	40	84
14	秋元一男	日大(2)	48	38	86
15	内藤博史	高井中(3)	46	41	87
15	桜井秀剛	越中(2)	44	43	87
15	木村宣一	啓明学園(2)	42	45	87
18	小田倉一	松戸常盤(2)	49	39	88
18	市原健彦	明中八王子(3)	44	44	88
18	海老沢俊幸	水戸第四(3)	44	44	88
21	海江田大郎	鎌原中(2)	47	43	90
22	吉田聡保	日本工大東大(3)	46	45	91
23	中田聡彦	富士見台(3)	47	45	92
24	田中中介	佐野日大(1)	50	46	96
25	西村匡史	横浜港南(3)	49	50	99

＜女子の部＞

順位	氏名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	中島真弓	山梨英和(1)	36	35	71
2	渡辺香織	新(3)	38	38	76
3	山崎公子	鶴川高(1)	40	37	77
3	中野陽子	堀越(2)	36	41	77
5	金沢鈴華	常総学院(3)	39	39	78
6	東尾理子	京(2)	41	38	79
6	大竹康子	佐野日大(3)	39	40	79
8	橋本奈美樹	上矢部高(2)	38	42	80
8	岡地あつ子	堀越(2)	41	39	80
8	山崎史子	瑞穂野中(3)	38	42	80
11	山崎礼奈	土浦日大(2)	41	40	81
12	小早志まり子	千歳立佐原高(3)	41	41	82
13	小池水子	広尾中(3)	44	39	83
13	関根由紀	埼玉栄(2)	39	44	83
13	西門美枝	堀越(1)	42	41	83
13	田中淑枝	東金女(3)	42	41	83
13	白須加津香	埼玉栄(3)	44	39	83
18	新築るり	埼玉栄(3)	39	45	84
18	村幸江	新(2)	41	43	84
20	片山真光	新(2)	39	46	85
20	小林里	日体桜瀬(3)	41	44	85
20	高橋美友紀	砂中(3)	41	44	85
23	小野明子	土浦日大(2)	45	41	86
23	宮嶋恵	西部台千歳(3)	42	44	86
23	井出恵美子	泉(3)	45	41	86
23	戸部千賀子	作新(3)	43	43	86
23	藤崎淑子	土浦日大(2)	42	44	86
28	藤井瞳	水城(1)	43	44	87
28	塩田重美	結南中(1)	42	45	87
28	佐野歩美	土浦日大(1)	43	44	87
28	樺沢朱実	埼玉栄(1)	44	43	87
32	加藤百恵	堀越(3)	42	46	88
33	渡辺玲子	学館浦安(3)	48	43	91

平成4年度 第2回常務理事会議事録

日時 平成4年7月1日(水) 正午

場所 ダイアモンドホテル 203号

出席者 細川理事長、古賀、松浦各副理事長、相山、福田、北村、古茶、小宮山、松野、鍋島、斎藤、庄野、滝沢、田中、渡邊各常務理事

陪席 大坪、福岡、藤原各理事(新規加盟申請倶楽部推薦)

細川理事議長となり、12時10分開会を宣し、順次議題審議を行った。

―― 討議及び決議事項 ――

1. 新規加盟申請倶楽部審査の件

6月30日現在、加盟申請のあった次記8倶楽部の入会を慎重審議の結果これを承認した。

- ①下田城カントリー倶楽部(新潟)
 - ②佐原スプリングスカントリー倶楽部(千葉)
 - ③伊豆下田カントリークラブ(静岡)
 - ④君津ゴルフ倶楽部(千葉)
 - ⑤喜連川カントリー倶楽部(栃木)
 - ⑥フォレストカントリークラブ三井の森(長野)
 - ⑦トーヨーカントリークラブ(千葉)
 - ⑧中伊豆グリーンクラブ(静岡)
- 以上8倶楽部の加盟により、加盟総倶楽部数は446となった。

2. 財日本ゴルフ協会普通会員入会審査の件

6月30日現在、入会申請のあった藤原敏男氏他49名の入会を承認し、JGA入会審査委員会に申請することを承認した。

3. 平成5年度年会費徴収方法及び事業計画について

松浦財務担当副理事長より次記の報告、提案がなされた。

- ①中期事業計画(平成5年～7年)の策定にあたっては、3年度通常総会にて細川理事長より示され、満場一致で承認された活動方針に基づく、「策定基本方針」を定めた。
- ②上記「策定基本方針」を総務・財務委員会にて確認し、予算案を編成した。
- ③徴収方法、及び予算案の骨子は

4. 年会費の徴収方法はJGAとの関連が深いため、JGA事業計画、年会費徴収方法が決定するまで、事務局経費については、4年度実績通りホール数

により徴収とする。また、事業計画に基づく、関東オープンゴルフ選手権開催費用等の財源不足部分、加盟倶楽部、ゴルファーへの還元を目的とする諸事業費については、入場者割にて徴収する。

ロ、収入の部については

- ・加盟金については、1倶楽部当たり100万円とする。
- ・ジュニアスクール助成金は@5,000円×人数とする。

ハ、支出の部については

- ・コース使用料は150万円(18H、1日)
- ・競技諸費2,000万円
- ・会報発行費は、広報活動費500万円を含め1,300万円
- ・ジュニア育成費は@8,000円×人数分
- ・加盟倶楽部データ集積、競技記録データ集積 5年度 1,500万円、6年度 1,500万円
- ・助成金

(イ)東日本支配人会 100万円

(ロ)関東高等学校ゴルフ連盟 200万円

ハンディキャップ無料化に伴う諸費用 3,500万円以上により収支過不足金は△23,680万円となり、年間入場者を2,000万人と推定し、入場者割負担金は@20円とする。尚、余剰資金については、後期事業計画実行のための内部保留とする。

以上の報告、提案をうけ事務局長より詳細な説明がなされた後、慎重な審議を行い、満場一致で承認可決された。

尚、本事業計画、予算案は各県倶楽部代表者会議、理事会にて報告、説明し、平成4年度通常総会に上程することを確認した。

4. 平成4年度関東オープンゴルフ選手権競技について

尾関準備委員長欠席のため、事務局長より次記の現状報告がなされ、これを承認した。

- (1)チャリティに関する諸品(ボックス、入場整理券、ポスター等)は5月20日より全加盟倶楽部に送付済みである。
- (2)外務省の後援については、いろいろの経緯ののち、文部省にも一応の了解を得、外務大臣杯の提供が承認された。
- (3)電通と折衝せるところ、一般番組として放映の意向であり取材費として、1千万円が拠出される予定である。
- (4)寄付金第1号として栃木県ゴルフ協議会より小切手にて100万円、埼玉県アマチュアゴルフ連盟より30万円の寄金があった。

- (5)寄付金の総額を早期把握の上、本年度の寄付額を決定し、最終日の表彰式にて発表、寄金したい。
 (6)総務・財務委員会にて、開催地域社会にも還元すべきの提案があり、本年度開催県茨城に100万円、町に100万円、計200万円寄金することにしたい。
 (7)倶楽部によって、募金額に相当の差があり、常務理事、理事諸氏にさらなるご協力をお願いしたい。

5. JGA体協会復帰に伴うKGAの諸問題について

- 尾関JGA体協委員欠席のため、事務局長より次記の報告がなされこれを承認した。
 (1)KGA傘下1都10県のうち、JGA体協委員会に6月30日現在加盟したのは、栃木県、埼玉県アマチュアゴルフ連盟である。
 (2)アマチュアゴルフ連盟未組織の県は、東京都、静岡県である。
 (3)以上の現況をふまえ、先ずは組織作りを第1としたい。
 (4)JGA体協委員会では、基本となる「ゴルフ連盟規約案」、及び事業目的を策定中である。

6. 消費税に関する修正申告、及び納税の件

- 事務局長より次記の報告がなされた。
 (1)去る5月19日JGAに消費税に関する麴町税務署の調査が行われた。
 (2)6月4日同税務署によりKGAにおいても調査された。
 (3)結果、年会費については、消費税導入当初よりJGA、KGAともに非課税(法的には不課税)扱いとして処理を行ったもので、課税対象外であるとの見解を述べたが、当局は公益法人等の仕入課税控除の特別に定められた通り、かかる会費については特定収入とされ、その収入割合をもって課税対応がなされるべきであるとして、直ちに修正申告提出の要望が出された。当局と種々折衝を重ね、初年度の本息、及び2/3年度の加算税は免税扱いとする旨の見解も出される事もあり、下記の通り修正申告書を提出する事とした。
 2年度修正申告書 ¥2,223,000
 3年度修正申告書 ¥2,109,200
 以上の報告の後、小菅会計事務所長より、補足説明がなされ、審議の結果、やむを得ざる事との結論に達し、これを承認した。

7. 分科委員会報告、及び提案

- (1)競技委員会
 ・JGA競技委員会は、5年度より、日本女子アマの開催日を、これまでの6月第1週を9月第2週とし、ハンディキャップは12とすることを決定した。

これは女子の競技が春季に集中していることを是正するための処置である。

- ・日本女子シニアの開催を決定し(10月27、28日、満50歳、ハンディキャップ15)シニアオープンと同様、東西にて予選競技を行う。尚、第1回決勝競技会場は関東地区とする。
- 以上の決定に従いKGA競技委員会としての対応を後日検討することとなった。
- ・5年度よりシニア参加資格年齢が満55歳となるが、これに従い参加者増が予想される。事務局の調査によれば、6月30日現在、167倶楽部より1,251名の参加希望者が在籍するとの回答があった。そのため、予選会場(現行4会場)の選定にあたり、27H、36Hの倶楽部と交渉中である。との報告がなされた。

以上をもって議題審議を終了、細川議長14時30分閉会を宣した。

平成4年度第2回総務、財務合同委員会議事録

日時 平成4年6月2日(火) 正午
 場所 KGA会議室
 出席者 中井総務委員長、松浦財務委員長、古賀総務・財務副委員長、福田、北村、松野、鍋島、尾関、滝沢各委員
 中井総務委員長の議事進行のもと下記の通り討議、検討が行われた。

―― 討議及び決議事項 ――

1. 平成5年度以降の年会費徴収方法及び事業計画について
 佐藤事務局長よりKGAの中期事業計画及び予算案について次記説明、提案がなされた。
 ①基本的に事務局経費については倶楽部均等割り、事業費については入場者割りとした。
 ②JGAに対する納付金については、いずれかに上積したい。
 上記の審議検討に先立ち本件はJGAとの関係が深い為、中井委員長よりJGAの現状につき次記説明、提案がなされた。
 「JGA総務委員会に於いて、JGAの予算案を検討中であるが会費徴収方法については原則的には入場者割りを採用致し度きも、他地区連盟との関連もあり、具体

的的事业計画案が策定されるまで、4年度の倍額徴収実績を向こう2/3年間は据え置きとする方針である。この方針は7月上旬開催のJGA理事会に於いて検討の予定である。従って、KGAの年会費徴収についても、JGAと足並みを揃える意味で事務局経費については4年度実績通りホール数による徴収とし事業計画に基づく、関東オープン競技等の財源不足部分及び各倶楽部・golferへのメリット還元等については入場者割りを採用の事と致し度い。」

この方針に基づき直ちに各委員により第1次予算案を項目別に再検討しその結果下記の通り決定した。

- (1)収入の部については
 ・加盟金については1倶楽部当たり1,000千円に引き上げる。
 ・ジュニアスクール助成金は@¥5,000×3,000名に変更
 KGAニュース広告料については現行通りとする。
 (2)支出の部については
 ・納付金は4年度実績通りホール数による徴収据え置きとする。
 ・コース使用料は 1,500千円
 ・競技諸費等は 20,000千円
 ・会報発行費は 広報活動費5,000千円を含め13,000千円
 ・ジュニア育成費は @¥8,000×3,000名
 ・加盟倶楽部データ集積 5年/6年度に分割計上
 ・助成金は(イ)東日本支配人会1,000千円
 (ロ)関東高等学校ゴルフ連盟2,000千円
 ・ハンディキャップ査定費用の無料化一部減額、後年度に繰り延べる。
 ・グリーンシステム拡張費はクラブ数を減らし減額以上により収支過不足金は△236,800千円となった。

上記に基づく倶楽部の入場者割り負担金を@¥20と決定し、今後の常務理事会、理事会に計る事となった。尚、余剰資金については後期事業計画実行の為の内部保留とする事とした。
 将来JGAの事業計画が確定された時点で年会費変更を改めて各倶楽部へ依頼する事となった。

2. 関東オープン選手権競技について

- 尾関委員より下記の通り現況説明、報告がなされた。
 (1)チャリティに関する諸品(ボックス、入場整理券、ポスター等)は5月20日より全加盟倶楽部に送付済みである。
 (2)外務省の後援については、いろいろの経緯ののち、文部省にも一応の了解を得、外務大臣杯の提供が承

認された。

- (3)電通と折衝せる処一般番組として放映の意向であり取材費として、10,000千円が拠出される予定である。
 (4)寄付金第1号として栃木県ゴルフ場協議会より小切手にて1,000千円を滝沢委員が持参された。
 (5)寄付金の総額を早期把握の上、本年度の寄付額を決定し最終日の表彰式に発表、寄金したい。募金額によっては後年度に備え内部留保も考えたい。又、金額如何によってはKGA支出の10,000千円について繰り延べも考えたい。
 本口座は全く別勘定とし8月23日を目途に締め切り総額確認の上寄付金額の検討を計りたい。

次いで中井委員長より
 関東オープンについては開催地域社会にも還元すべきなので開催倶楽部を通じて寄付する事も検討致し度い。また、今後の関東オープン開催に当たっては事業収入を充分に考慮すべきであるとの指摘があり、これをうけ古賀委員長より地域還元につき本年度開催の茨城県に1,000千円、市に1,000千円計2,000千円を考慮して頂く旨の要望がなされ、これを承認した。

3. JGAの体協復帰に伴うKGAの諸問題について

- 中井委員長より次記報告、提案がなされこれを承認した。
 (1)JGA体協委員として、KGAより尾関、滝沢常務理事を選任したい。
 (2)JGAの体協委員会は当面静観の予定なので、KGAとして体協委員会の設置は成行きを見てからにしたい。

4. その他

- 佐藤事務局長より
 (1)関東オープンについては広告料収入がないのでプログラムの作成困難との報告がなされたが、最低コストで(限度2百万円)を目標に作成することを、決定した。
 (2)常務理事会の開催
 7月1日開催するが、事前に修正予算案を委員各位に送付する事となった。
 (3)寄付金については募金を8月16日に締め切りKGA宛に直ちに送金して頂き、総額確認の上、次回の総務財務委員会(8月28日開催)にて寄付金額を決定する事とした。

平成4年度第2回競技委員会議事録

日時 平成4年9月3日(木) 午後5時
 場所 茨城ゴルフ倶楽部 会議室
 出席者 尾関委員長、河西、新井(昌)、新井(安)、山田(八)、各副委員長
 平山、飯塚、本吉、野本、沼澤、大久保、関谷、田辺、田中、牛込、山本、山崎(滋)、矢野、各委員

—— 討議及び決議事項 ——

1. 平成5年度以降の倶楽部対抗競技について

7月14日開催された競技委員会正副委員長会議において、尾関委員長より、平山誠一、市川一夫、織戸総三郎の3名が、倶楽部対抗実行小委員会委員に指名、委嘱された。3氏は、第一次案を策定し、本会に提案、各委員より活発な意見が出され、それをもとに第二次案を策定した。

同案を、尾関委員長に提出し、関係委員会にて討議、審議することとなった。

2. 平成5年度以降の関東オープン開催方式及び実施規定について

尾関委員長より次記の報告、提案がなされ全員これを了承した。
 「新・関東オープン」ともいべき今大会の開催にあたって、現行の実施規定にはさまざまな問題があることを感じた。とくに参加資格については、再検討の要があると考えている。改正に際しては、JGA、プロ協とも細かい点まで協議しなければならぬが、早速とりかかりたい。」

3. 平成5年度関東シニア競技について

事務局より、次記報告がなされ、これを確認した。
 「5年度より、出場資格が、満55歳、JGA、Hdcpl2となるため、エントリー数が大幅に増えることが予想される。そのため、1500人を目標にコース選定、依頼をしている。」

4. 「日本女子アマ」のスケジュール変更による、関東女子予選、決勝競技について

事務局より、次記報告がなされ、これを確認した。
 「5年度より、日本女子アマの開催日が、9月第2週に変更となる。これまでは、6月第1週であったが、女子の競技が春に集中して開催され、日程が過密であるとの理由で変更となった。しかし、5年度関東女子

予選、決勝はすでにコース選定依頼も終了しており、変更は不可能である。したがって、5年度は現行のスケジュールどおり開催し、もし変更するならば、平成6年度よりとしたい。」

5. 平成5年度連盟主催競技日程および開催倶楽部について

別紙の日程、開催倶楽部を確認した。(18頁参照)

6. チャリティ報告

尾関委員長より次記報告がなされ、これを確認した。
 「ご承知のように、今年度関東オープンは開催意義をさらに高めるため、加盟倶楽部、プロ協、ギャラリーにご協力いただき、チャリティを行っているが、常務理事会、総務・財務委員会において、次の団体に寄付することを決定した。諸氏のご協力を感謝する。UNHCRに2,000万円プラス会場でのギャラリーからの寄付金、茨城県及び伊奈町の福祉団体に各100万円」

7. その他

5年度関東シニア予選競技は参加者増及び競技委員諸氏の大半が「出場資格者となるため、競技委員の絶対数が不足となるおそれがある。そのため月例委員会、ジュニア委員会に協力を要請することを確認した。

平成5年度以降の倶楽部対抗競技に関する実行小委員会の提案及び報告

7月14日開催された競技委員会正副委員長会議において、尾関委員長より、平山誠一、市川一夫、織戸総三郎の3氏が「倶楽部対抗実行小委員会委員に指名・委嘱された。

3氏は、8月26日、競技委員会第2班有士とともに審議・検討し第1次案を9月3日開催された競技委員会に提案した。さらに委員会で意見を取り入れ、9月5日次記案を策定した。

骨子は以下のとおりである。
 ・予選競技はこれまでどおり各県別に行う。
 ・決勝進出倶楽部数の増を図る。
 そのために必要な、1チームの出場選手人数、A・Bクラスの年齢の再検討、決勝会場の選定、円滑な運営方法の具体案を早急に検討する。

4年度第4回月例競技委員会議事録

日時 平成4年8月25日(火) 12時30分
 場所 KGA会議室
 出席者 斎藤委員長、山崎・川島副委員長、平山、市川、岡野、嶋田、新村、竹林各委員、学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

1. 8月度競技報告及び総括

川島副委員長より下記の報告及び総括がなされた。
 夏の合間の涼しい曇り空の好コンディションに恵まれ競技は無事終了した。優勝スコアも男女とも70ストロークとレベルの高い競技となった。

しかし、ミーティングでも注意を行ったが、欠席者の多さ、朝のサインもれ、参加料の領収書を請求する選手、使用クラブ(ピンアイII)の問題等、常識の範囲を越えた問題が生じた事は非常に残念なことであった。

エントリー数他は以下の通り
 開催日 平成4年8月21日(金)
 コース 高坂カントリークラブ(米山コース)
 エントリー 121名(男子80名、女子41名)
 欠席者 事前連絡14名(男子13名、女子1名)
 当日連絡2名(男子2名、女子0名)
 無断欠席 0名
 出場者数 105名(男子66名、女子39名)
 科問者 1名
 ミーティング欠席 2名
 失格者 0名
 棄権者 0名

2. 8、9月月例出場資格者報告の件

8月度出場者報告
 男子603名(+13名) 女子195名(-3名)
 9月度出場者確認
 男子620名(+17名) 女子220名(+25名)

3. 9月のテーマ

・ボール・マークの修復の徹底
 ・ディボットの修復の徹底

4. 9月度特別注意事項

9月開催倶楽部の霞ヶ関カンツリー倶楽部では、キャディバック重量制限(11K以内)を行っており、選手にスタート表発送時に注意を喚起することとした。

4年度第5回月例競技委員会議事録

日時 平成4年9月22日(火) 12時30分
 場所 KGA会議室
 出席者 斎藤委員長、山崎・川島副委員長、平山、市川、小池、松井、本吉、桜井、嶋田、各委員、学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

1. 9月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。
 参加者多数であったが、曇天・無風の好コンディションに恵まれ競技は無事終了した。しかし、競技以外のことではあるが、倶楽部の規定であるキャディバックの重量制限(11K)をオーバーした選手がいた(男子2名、女子1名)ことは非常に残念なことであった。
 エントリー数他は以下の通り

開催日 平成4年9月17日(木)
 コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部(東コース)
 エントリー 180名(男子115名、女子65名)
 欠席者 事前連絡9名(男子5名、女子4名)
 当日連絡2名(男子2名、女子0名)
 無断欠席 0名
 出場者数 169名(男子108名、女子61名)
 科問者 1名
 ミーティング欠席 0名
 失格者 2名
 棄権者 0名
 プレーオフ 女子3名
 三木恵美子(富士)
 山本智美(鹿沼2)
 渡辺恵子(高根)

2. 10月月例出場資格者報告の件

9月度成績データ処理中につき、次回委員会にて報告

3. 10月のテーマ

・ティ・グラウンドの前方を横切らない
 ・ディボットの修復の徹底

平成4年度第1回グリーン委員会議事録

日時 平成4年5月8日(金) 17時
 場所 ダイヤモンドホテル 伊勢の間
 出席者 古賀委員長、海老原、相澤、浅沼、藤原、福山、古谷野、坂本、鈴木、渡辺 各委員
 平林、平本、角田、大久保、柳、各参与
 陪席 熊沢喜久雄(東京農業大学教授)

—— 討議及び決議事項 ——

1. 春季グリーン研究講習会総括

5月8日午後1時より科学技術館サイエンスホールにて、開催された標題講習会について、事務局より上記の報告がなされ、これを確認した。

今回の受講者は、104倶楽部152名、プレス4社、東日本グリーン研究所関係者22名の合計178名であった。講師の熊沢喜久雄先生のやさしくかみくだいた講演は、受講者にとって理解しやすく、これからの業務に大いに役立つことと思う。

2. 芝草管理技術者ライセンスについて

古賀委員長より次記報告及び協力要請がなされ、これを確認した。

「かねてより準備計画してきた、芝草管理者ライセンスのための講習会、試験等が具体化しつつある。主催は、日本芝草研究開発機構であるが、その実施方については、各地区連盟、東日本支配人会等の協力が不可欠であり、諸氏にもご協力お願いしたい。」

3. 秋季グリーン研究講習会について

古賀委員長、事務局にてテーマを決定し、例年通り11月中に開催することを確認した。

平成5年度関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競技名	開催コース
5	6	木	第1ブロック	赤城
5	5	木	第2ブロック	(千葉県)
5	10	月	第3ブロック	富士宮
5	14	金	第1ブロック	立川国際
5	12	水	第2ブロック	(埼玉県)
5	10	月	第3ブロック	伊豆にらやま
5	14	金	第4ブロック	南摩城
5	14	金	第5ブロック	コスモクラシック
5	18	火	第6ブロック	穴戸国際
5	19	水	関東女子選手権決勝	佐倉
5	24	月	東京地区	東京五日市
5	24	月	埼玉	嵐山
5	28	金	第2地区	狭山
5	24	月	千葉	鎌ヶ谷
5	24	月	第2地区	加茂
5	25	火	神奈川地区	小田原・松田
5	25	火	茨城	那珂
5	25	火	第2地区	扶桑
5	25	火	栃木	黒磯
5	24	月	群馬地区	関東国際
5	24	月	静岡	藤岡
5	24	月	第1地区	太閤
5	24	月	第2地区	菊川
5	27	木	長野地区	三井の森
5	24	月	山梨地区	清春
H4.9	25	金	新潟地区	笹神五頭

月	日	曜	競技名	開催コース
6	15	火	関東アマチュア選手権決勝	大 利 根
6	16	水		
6	17	木		
6	18	金		
6	22	火	関東倶楽部対抗決勝	フォレストゴルフクラブ
7	26	月	関東ジュニア選手権予選	茨城 城高
7	26	月		日 高
7	26	月		甲 府 国 際
7	27	火		ノーザン鎌ヶ谷
7	27	火		程ヶ谷
7	28	水		千葉・川間
7	26	月		(中学男子)
7	26	月		藤ヶ谷
8	4	水	関東ジュニア選手権決勝	武蔵・笹井
8	5	木		
9	2	木	関東オープン選手権	浜 野
9	3	金		
9	4	土		
9	5	日		
9	6	月	第1ブロック	青 梅
9	6	月	第2ブロック	大 千 葉
9	6	月	第3ブロック	平塚富士見
9	7	火	第4ブロック	セントラル
9	8	水	第5ブロック	鬼 怒 川
9	27	月	関東シニア選手権決勝	日 光
9	28	火		
10	22	金	関東グランドシニア選手権	霞ヶ関

平成4年10月5日現在 *一部変更になる場合があります。

下田城カントリー倶楽部



1. 倶楽部名 下田城カントリー倶楽部
住所 新潟県南蒲原郡下田村橋山52
電話 0256-46-5111
2. 開場年月日 平成2年7月15日
3. 理事長名 結城富重郎 大正7年9月13日生
倶楽部代表者 結城富重郎 外山良助
4. 倶楽部分科委員長
競技・ハンディキャップ委員長 外山良助
エチケット・フェローシップ委員長 宮原松雄
コース委員長 堀川兵衛
キャディ委員長 野島貞夫
ハウス委員長 清水榮次郎
5. 支配人 古川 潔 昭和37年8月5日生

6. 倶楽部概要
大洋グループ直営2番目のコースとして平成2年7月オープン。北陸自動車道三条ICより30分と立地条件に恵まれた標高150メートル~200メートル、敷地面積40万坪と非常に広大な敷地に展開するアメリカンスタイルのフラットなコースです。また、自生のならの木の「各ホールをセパレートし、プレーヤーに「スケールの大きさ雄大さ」を感じさせてくれます。
コースからは、果敢地域・弥彦山さらには新潟市街地が眺望でき、プレーとともに御褒めいただけます。
コース設計は、俊英デザイナー佐藤謙太郎氏があたりコース全長7,113ヤード(パー72)と距離も長く、フェアウェイ幅も平均で60メートルと広く、ランディングエリアを明確にし戦略ルートを描きながら、14本全てのクラブを駆使したスコアメイクを必要とする。またフラットな設計の中に自然を生かしたマウンド・池・バンカーを絶妙に配置し景観もさることながら戦略性・難度を高めプロからビギナーまで全てのプレーヤーに満足いただけるコースです。
グリーンは冬季クローズ期間中に雪下にて育んだベントのワングリーンで平均800平方メートルと大きく、アンジュレーションに富んでいます。
ハウス設計は、丹下健三都市建築設計研究所が担当し、そのデザインは倶楽部シンボルの「トキ」をイメージした

もので、ハウスと駐車場を半円の巴相似形とした地上2階地下1階建ての建物です。
外壁は御碑石を用い白を基調とした洋風建築で、2階レストランからの眺望も素晴らしいコースを見渡しながら四季折々のメニューを御褒め頂けるよう配置されております。

フォレストカントリークラブ三井の森



1. 倶楽部名 フォレストカントリークラブ三井の森
住所 〒391-02 長野県茅野市豊平字東嶽4734-3888
電話 0266-76-2300
2. 開場年月日 平成3年7月2日
3. 理事長名 坪井 東 大正4年5月1日生
倶楽部代表者 坪井 東 中川不二雄
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 支配人 山門 豊 昭和10年8月8日生
6. 倶楽部概要

当ゴルフクラブは「株式会社 三井の森」が経営の三井の森森林ゴルフ倶楽部に次ぐ二つ目のゴルフ場として平成3年7月2日開場しました。
八ヶ岳連峰を間近に仰ぎ、蓼科山ならびに南・中央・北アルプスと360度の雄大な景観に恵まれた標高約1,400メートルのなだらかな台地に白樺・赤松・唐松の自然林をふんだんに残してレイアウトされた丘陵コースです。
謝永郁プロが設計したコースは、自然の地形を巧みに生かし、ホール間て高低差をマンコンペにより吸収しているため、各々のホールはほとんどフラットになっております。また、ブラインドがなくグリーンは平均800平方メートルと大きく、ベント芝を採用しております。フェアウェイは広く微妙なアンジュレーションや要所に大きな池やバンカーが配置されていて全体的には挑戦的ながらも難しく、レギュラーティからは易しい正統派リゾートコースでアベレージゴルファーからシングルプレーヤーまで楽しめる戦略性の高いコースです。
クラブハウスは、家族も優しくお迎えできるようにラウンジやファミリースペースのあるレストランとソフトな自然感覚の藤の家具類を揃え、また大きなビクチャーウィンドウと呼ばれる窓からは八ヶ岳連峰や南アルプスの雄姿を

新規加盟倶楽部紹介

眺めることができ、思い思いに寛ぎながら真のメンバーシップが育てられます。

伊豆下田カントリークラブ



1. 倶楽部名 伊豆下田カントリークラブ
住所 静岡県加茂郡南伊豆町入間2383-1
電話 0558-62-2211
2. 開場年月日 昭和50年9月12日
3. 理事長名 相山武夫 大正4年3月7日生
倶楽部代表者名 相山武夫
4. 倶楽部分科委員長名
ハンディキャップ委員長 田中 栄
競技ルール委員長 梅沢 享
5. 支配人 相山長俊 昭和26年3月26日生
6. 倶楽部概要

伊豆半島最南端。太平洋の荒波が永い歳月をかけて造り上げた絶景の地。奥石鐘崎に程近い高台の丘陵地に当伊豆下田カントリークラブの18ホールが広がります。

又、車で30分以内には、その昔黒船が来航した日本開国の地、下田港。そして東洋一の湯量を誇る下賀茂温泉と、県内でも有数に観光地南伊豆の中にあつて当クラブもその一翼を担っていると自負しております。

コースは幾つもの名門コースを手掛けた竹村秀夫氏と当社相山社長の理念により、初めて来場されたお客様でも戸惑うことなく思い切ったドライブショットが満喫できる様、ほとんどのホールでティグランドからIP地点やハザード、グリーンを望むことが出来、フェアウェイも広々と造られております。しかし、各ホールのポイントとなる地点には巧みにバンカーが配置され、ホール戦略を一つ間違えたとパーはおろかボギーで上がることも容易でなく、スコアメイクに苦勞を強いられます。特にNo.9ホールは距離は275ヤードと短いものの、9ヶ所のバンカーが160ヤード付近からグリーンまで左右をガードしており、ショットに絶対の自信をもつプレーヤーの方でもティグランドに立った時その攻略法に頭を痛めることでしょう。

尚、日本プロゴルフ協会の指定コースとして、毎年プロテストの開場にもなっております。

南伊豆は一年を通じて温暖ですので、芝は常にベストの状態を保ち、いつでも最高のコンディションでのプレーを楽しんで頂けます。

君津ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 君津ゴルフ倶楽部
住所 千葉県君津市平山32-1
電話 0439-29-3111
2. 開場年月日 昭和62年10月15日
3. 理事長名 高橋治則 昭和20年10月9日生
倶楽部代表者 北田正武
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 支配人 小森正則
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、都心から車で京葉道路千葉南ICを経てコースまで94K、約120分(近い将来東関東自動車道本津線の開通が予定されており、開通後は30分以上の短縮が見込まれ便利になります) 房総のはほぼ中央部に位置し、萌ゆる緑豊かな標高100米前後のなだらかな稜線を描く台地に180万平方メートルの広大な用地を有し、四季を通じ温暖な気候風土に恵まれ、自然環境にも殊のほか優れ、カントリーライフを十分に満喫していただける絶好の立地条件を備えております。

コースは、昭和62年10月、18ホール7,028ヤード、パー72をオープン。更に平成2年11月増設9ホール3,268ヤード、パー36をオープンいたしました。レイアウトは飽くまでも自然との調和をテーマに27のどのホールからも雄大な大自然の景観がもの見事に一望できるよう工夫が凝らされ球趣を一段と盛りあげてくれます。季節感溢れる花々が造園の美を演出し、造形の妙と相俟ってあきること知らぬ美しいアウトコース。谷越え池越えが随所に設けられ、気の抜けないメンタルなホールが続く戦略性に富んだインコース。重機のメスを最小限にとどめ自生樹林帯を数多く残存し、野鴨や白鷺が飛来棲息する天然池。ときには野猿の影さえみかける程自然が温存されながら御境を彷彿させるニューコース。各々印象深い感動豊かな27ホールであります。

またプレーのひとときを憩うクラブハウスは、純和風建築の粋を凝らした気品に満ちた瀟灑な造りで、総面積4087平方メートル平屋建てとなっております。広々と余裕をもたせた

新規加盟倶楽部紹介

ロビー、採光に工夫を施した明るいレストラン、房総の峰々が谷槽から展望できるバスルーム、自然をモチーフに野趣豊かな中庭を背景に安らぎのラウンジ、120名収容のコンペッションルーム等ゆとりと空間を大切に木肌のぬくもりが直に優しく包み込んでくれる格調高い寛ぎのクラブハウスとなっております。

運営面につきましても、メンバー本位に徹し、常にメンバーとのふれあい、対話を重んじ、会員のために会員による倶楽部運営活動を積極的に推進いたしております。

中伊豆グリーンクラブ



1. 倶楽部名 中伊豆グリーンクラブ
住所 静岡県岡部郡中伊豆町冷川1521-108
電話 0558-83-3200
2. 開場年月日 平成2年10月24日
3. 理事長 青山 茂 大正10年3月17日生
倶楽部代表者 青山 茂
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 支配人 大澤紀英 昭和15年11月12日生
6. 倶楽部概要

なだらかな打ち下ろしや打ち上げのホール、広く開けた雄大なホール、池を配し正確性を要求するホールなど、それぞれのホールに印象深い個性を与え、日ごとに攻略ルートを変えてプレーのできる戦略性に富んだ味わいのあるコースである。

各ホールのティグランドは4段階とし、この使い分けにより経験と実力に応じた難易度を選択して、あらゆるレベルのプレーヤーがゴルフの醍醐味を堪能できるように設計されている。

また、フェアウェイやラフには、常に異なるライからのショットとなるように、変化に富んだアンジュレーションがあり、バンカーやウォーターハザードなどもコースの景観にマッチさせ、あるものは見せバンカーであり、またあるものはコースマネジメントに欠かせないハザードとしてコースを面白くしている。

さらに、ペントガラスのワングリーンにより四季を通して快適なコンディションでプレーが楽しめ、ゴルフはバタ

ーに始まりバターで終わることがじっくりと実感できるグリーンとしてある。

トーヨーカントリークラブ



1. 倶楽部名 トーヨーカントリークラブ
住所 千葉県長生郡長南町市野々685
電話 0475-47-0221
2. 開場年月日 昭和46年11月3日
3. 理事長名 池田一郎 大正7年4月8日生
倶楽部代表者名 池田一郎 林 武次
4. 倶楽部分科委員長名
競技委員長 増村嘉徳
HDCP委員長 渡辺時男
ハウス委員長 家田光雄
プロキャデー委員長 糸日谷栄作
エチケット・フェロシッパ委員長 麻生常蔵
グリーン委員長 湯川龍二
5. 支配人名 麻生 克利 (昭和23年5月23日生)
6. 倶楽部概要

太平洋を望む千葉県の丘陵地帯の自然を生かした場所にレイアウトされた当クラブは、都心より京葉道路経由で約80分、冬でも菜の花の咲く温暖な気候、豊かな自然に恵まれた静かな古い城下町、長南に位置しています。坂東三十一番観音霊場、笠森寺を五月雨に濡れながら参詣した芭蕉も「五月雨やこの笠森をさしもぐさ」とうたっております。この地に、花と緑の健康広場をテーマに、各ホール興趣の異なった戦略性に富んだ18ホールが展開しております。全体にフェアウェイが狭く、谷越えとドッグレッグのホールが多い為、飛距離よりも正確性、方向性を重視しないとスコアがまとまりません。各ホール共にショットテクニックを要します。特に最終の18番ホールは比較的距離の少ない左ドッグレッグのロングホールですが、ここで気を抜くと左右OBの連発で思った以上の大たたきをする事になります。クラブハウスはコース全体を見渡せる高台にウッドイナ吹抜け式で、眼下に見おろすコースの造形美を眺めながらプレー後の一時をゆっくりと寛いで戴けることと思います。

月例競技成績表

(平成4年度8月月例) 8月21日(金)浜野ゴルフクラブ

(男子)

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	笠川 喜久男	鷹之台	39	31	70
2	小久保 武夫	藤岡	36	35	71
2	遠藤 修	阜月・佐野	37	34	71
2	小川 透	岡部チサン	37	34	71
2	加藤 一彦	千葉	38	33	71
2	沢田 信弘	長南	35	36	71

コースレート 73.4

(女子)

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	渡辺 恵子	高根	34	36	70
2	梅村 俊子	藤岡	38	39	77
3	押田 幸子	大日向	40	38	78
3	安田 幸子	相模	39	39	78
3	加藤 勝栄	相模原	41	37	78
3	三宅 未津枝	南箱根	39	39	78

コースレート 70.4

(平成4年度9月月例) 9月17日(休)霞ヶ関カンツリー倶楽部(東コース)

(男子)

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	室伏 健二	東名	34	36	70
2	小池 茂	穴戸国際	35	36	71
2	菊地 貴之	白帆	35	36	71
2	日暮 俊明	扶桑	34	37	71
2	浅野 慶一	日本大	36	35	71

コースレート 特設ティの為なし

(女子)

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計	
1	山本 智美	鹿沼	72	36	39	75
1	渡辺 恵子	高根	41	34	75	
1	三木 恵美子	富士	39	36	75	

コースレート 特設ティの為なし

*山本、渡辺、三木の3氏は10月度月例にて、プレーオフを行い、優勝者を決定する。

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長

●紫カントリークラブ

(新)中西士朗

(旧)茂木七郎治

●三島スプリング①カントリー倶楽部

(新)吉崎満雄

(旧)三井長生

●飯能ゴルフクラブ

(新)尾平聰男

(旧)庄野五一郎

倶楽部代表者

●都留カントリークラブ

(新)角田勇夫

(旧)久保 満

●箱根カントリー倶楽部

(新)平田秋夫

(旧)榎本謙治

●長竹カントリークラブ

(新)樋口錠一

(旧)中嶋 弘

支配人

●唐沢ゴルフ倶楽部

(新)佐藤長良

(旧)大森昭夫

●阜月ゴルフ倶楽部

総支配人(新)楠本元徳

(新)河合 等

(旧)楠本元徳

●霞ヶ関カンツリー倶楽部

(新)岡野忠義

●高麗川カントリークラブ

(新)半沢友吉

(旧)矢部春雄

●エンゼルカントリークラブ

(新)吉田完二

(旧)尾方 京

●長竹カントリークラブ

(新)井戸良輔

(旧)金原以作

東京事務所

●秋山カントリークラブ

(新)〒160 新宿区新宿1-4-8

新宿区小川ビル5F

●富里ゴルフ倶楽部

(新)〒102 千代田区一番町16番地

共同ビル6F

●ミオス菊川カントリークラブ

(新)〒101 千代田区外神田1-15-2

☎03-3257-4163 ☎03-3257-0369

●飯能ゴルフクラブ

東京事務所閉鎖

平成4年10月1日発行 KGAニュース No.40

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03)5275-0391

発行人/細川 護 貞 編集/広報委員会